

2014年7月22日

山口大学、MOT 総研と三菱化学 植物工場に関する包括的連携協定を締結国立大学法人山口大学
株式会社 MOT 総合研究所
三菱化学株式会社

国立大学法人山口大学(山口県山口市、学長:岡 正朗)、株式会社 MOT 総合研究所(本社:山口県宇部市、社長:木村 俊之)と三菱化学株式会社(本社:東京都千代田区、社長:石塚 博昭)は、このたび、植物工場全般に係る共同研究開発等に関して包括的連携協定を締結したことをお知らせいたします。

山口大学は、これまで、植物と光や養液との関係、栽培環境のモニタリング、環境制御による野菜類の機能性向上など、植物工場に関わる様々な研究開発を行い、また、経済産業省及び農林水産省の助成事業を活用した新技術の確立・実証を行うための研究基盤の整備に取り組んできました。

MOT 総合研究所は、山口大学発のシンクタンク・コンサルティング会社として、地域経済の発展、地域社会の形成に寄与することを目的とし、環境・エネルギー、食料・バイオ等の分野で事業開発を推進してきました。

三菱化学は、2010年1月から完全人工光型植物工場システムの販売を開始しました。湿度、養分などの育成環境を最適な状態に制御することにより、気候に左右されることがなく、年間を通じて同じ品質の野菜を栽培できるとして、国内のみならずロシア、香港など海外にも植物工場システムを納入し、高い評価を得ています。

今般の包括的連携協力により、山口大学の持つ植物工場に関する技術基盤、MOT 総合研究所の持つ事業開発のノウハウ及び三菱化学の持つ技術・ビジネスの知見を融合させ、新しい栽培品目、栽培技術、設備技術といった植物工場全般に係る研究開発を実施していく予定です。また、前述の共同研究開発を通じて人材交流や人材育成を図ります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室

TEL : 03-6748-7140